数学

中学2年

本書の構成と特色

■ 全体の構成

1年と2年の学習内容から、2学期の予習もふくめて、基本的な項目の確認と応用力が身につくように構成されています。

■ 単元の構成

単元1～7は、**確認問題** → **練成問題** の2ステップで、単元の学習内容の理解が深まるように構成されています。

単元8～11は、**ポイント** → **確認問題** → **練成問題** の3ステップで、単元の学習内容が基礎から定着するように構成されています。

■ Check & Try

巻頭の「**事前に Check!**」は、基本事項を簡単におさらいできる問題で構成してあります。定着の度合いを確認することができます。

巻末の「**最後に Try!**」は、基本問題を中心にしながら、やや応用的な問題もふくめて構成してあります。本書で学習した成果を確認することができます。定期テストの準備に最適です。

CONTENTS

		学習日
事前に Check!	2	<input type="text" value="/"/>
1 正負の数	6	<input type="text" value="/"/>
2 文字式	8	<input type="text" value="/"/>
3 1次方程式	10	<input type="text" value="/"/>
4 比例・反比例	14	<input type="text" value="/"/>
5 平面図形	18	<input type="text" value="/"/>
6 空間図形	22	<input type="text" value="/"/>
7 データの活用	28	<input type="text" value="/"/>
8 式の計算	32	<input type="text" value="/"/>
9 式の計算の利用	36	<input type="text" value="/"/>
10 連立方程式	40	<input type="text" value="/"/>
11 1次関数	46	<input type="text" value="/"/>
最後に Try!	52	<input type="text" value="/"/>

どこまで身につけているか確かめよう!

次の問いに答えなさい。

1 <正負の数>

□(1) $-3, 0.6, -\frac{1}{2}, 0, \frac{1}{4}$ を絶対値の小さい方から順に並べなさい。

[]

□(2) 次の計算をしなさい。

□① $4-13$

□② $(-9)\times(-6)$

□③ $18\div(-3)^2$

[] [] []

□(3) 次の数を素因数分解しなさい。

□① 8

□② 36

□③ 140

[] [] []

2 <文字式>

□(1) 次の式を、 $\times, \div$ の記号を使わないで表しなさい。

□① $(-1)\times x\times y$

□② $a\times 2\times a\times b\times b$

□③ $x\div 4\times y$

[] [] []

□(2) $a=-3, b=2$ のとき、 $5a-7b$ の値を求めなさい。

[]

□(3) 次の計算をしなさい。

□① $3a-4-8a+6$

□② $7(2x-5)$

□③ $(15x-6)\div(-3)$

[] [] []

3 <1次方程式>

□(1) 次の方程式を解きなさい。

□① $6x-1=-7$

□② $1.7x-3.2=0.9x$

□③ $21\div x=14\div 8$

[] [] []

□(2) x についての方程式 $ax-6=4x+a$ の解が $x=-4$ のとき、 a の値を求めなさい。

[]

□(3) 1個60円のアメと1個90円のガムを合わせて12個買い、870円払った。買ったアメの個数を x 個として方程式をつくり、買ったアメの個数を求めなさい。

(式)

[]

4 <比例・反比例>

□(1) y は x に比例し、 $x=3$ のとき、 $y=-9$ である。 y を x の式で表しなさい。

{ }

□(2) y は x に反比例し、 $x=8$ のとき、 $y=2$ である。 $x=-4$ のときの y の値を求めなさい。

{ }

□(3) 次の問いに答えなさい。

□① 右の図で、点 P と x 軸について対称な点の座標を答えなさい。

{ }

□② 右の図に、関数 $y=-2x$ のグラフをかき入れなさい。

□③ 右の図の曲線 l のグラフの式を求めなさい。

{ }

5 <平面図形>

□(1) 右の図の長方形 $ABCD$ で、 AB と AD 、 AB と DC の位置関係を、それぞれ記号を使って表しなさい。

{ } { }

□(2) 次の①、②をそれぞれ作図しなさい。

□① 線分 AB の垂直二等分線

□② $\angle ABC$ の二等分線

□(3) 半径6cm、中心角 120° のおうぎ形の弧の長さとおうぎ形の面積をそれぞれ求めなさい。

{ , }

□(4) ある図形を一定の方向に一定の距離だけ動かす移動は何という移動か答えなさい。

{ }

6 <空間図形>

□(1) 右の図の立方体について、次の問いに答えなさい。

□① 辺 AB と平行な辺の本数を答えなさい。

{ }

□② 辺 AB とねじれの位置にある辺の本数を答えなさい。

{ }

□③ 面 $ABFE$ と垂直な辺の本数を答えなさい。

{ }

□④ 面 $ABCD$ と平行な辺の本数を答えなさい。

{ }

□(2) 下の図のような投影図で示された立体の名称を答えなさい。

□①

{ }

□②

{ }

□(3) 次の立体の表面積と体積をそれぞれ求めなさい。

[,] [,] [,]

7 <データの活用>

□(1) 右の表は鳥谷さんの家のニワトリがうんだ卵50個について、その重さをはかって度数分布表にまとめたもので、一部空欄がある。これについて次の問いに答えなさい。

階級(g)	度数(個)
以上 未満	
48 ~ 50	3
50 ~ 52	5
52 ~ 54	
54 ~ 56	14
56 ~ 58	11
58 ~ 60	6
計	50

- ① 階級の幅を答えなさい。 []
- ② 48g以上50g未満の階級の階級値を答えなさい。 []
- ③ 最頻値を求めなさい。 []
- ④ 54g以上56g未満の階級の相対度数を求めなさい。 []

□(2) 右の図の表は、生徒20人の通学時間を度数分布表にまとめたものである。これについて次の問いに答えなさい。

階級(分)	度数(人)	相対度数
以上 未満		
0 ~ 5	1	0.05
5 ~ 10	4	0.20
10 ~ 15	6	0.30
15 ~ 20	5	0.25
20 ~ 25	3	0.15
25 ~ 30	1	0.05
計	20	1.00

- ① 通学時間が10分以上15分未満の階級の累積度数を求めなさい。 []
- ② 通学時間が15分以上20分未満の階級の累積相対度数を求めなさい。 []

8 <式の計算> 次の計算をしなさい。

- (1) $(4a-b)-(3a-2b)$ []
- (2) $2(a-3b)$ []
- (3) $(28a-12b) \div 4$ []
- (4) $3(2a+b)+2(a-5b)$ []
- (5) $6a \times 7b$ []
- (6) $(-24ab) \div 8a$ []

9 <式の計算の利用>

□(1) $x=3, y=-2$ のとき、次の式の値を求めなさい。

- ① $(-3xy)^2 \div 4x$ []
- ② $x^2 \times (-2xy) \div 6$ []
- ③ $3(x-y)-2(x-3y)$ []

□(2) 次の等式を【 】内の文字について解きなさい。

- ① $S=6ab$ 【 b 】 []
- ② $5x+y=7$ 【 y 】 []
- ③ $\frac{x}{7} + \frac{y}{3} = 1$ 【 x 】 []

□(3) 偶数と偶数の和は偶数である。このわけを、 m, n を整数として、一方の偶数を $2m$ 、もう一方の偶数を $2n$ として次のように説明した。説明の□A～□Cにあてはまる式や言葉を答えなさい。

【説明】 m, n を整数として、一方の偶数を $2m$ 、もう一方の偶数を $2n$ とすると、
 偶数と偶数の和は、□A = 2(□B)と表せる。ここで、□Bは整数だから、2(□B)は□Cである。
 したがって、偶数と偶数の和は偶数である。

A{ }, B{ }, C{ }

10 <連立方程式> 次の連立方程式を解きなさい。

□(1) $\begin{cases} y=3x \\ 4x-y=2 \end{cases}$

□(2) $\begin{cases} x+y=7 \\ x-y=-1 \end{cases}$

□(3) $\begin{cases} 4x+2y=-2 \\ x+3y=-8 \end{cases}$

□(4) $\begin{cases} 0.2x-0.3y=1.3 \\ 0.6x+0.5y=-0.3 \end{cases}$

$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$

$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$

11 <1次関数>

□(1) 1次関数 $y=3x-5$ について、 x の値が4から6まで増加するときの y の増加量を求めなさい。

{ }

□(2) 次の問いに答えなさい。

□① 右の図に、直線 $y=x+1$ …(a)、直線 $y=-2x+4$ …(b)のグラフをそれぞれかき入れなさい。

□② 右の図の、直線 l, m の式をそれぞれ求めなさい。

l { }, m { }

□(3) 次の直線の式を求めなさい。

□① 傾きが2で、点(-1, -3)を通る直線

□② 切片が3で点(3, -6)を通る直線

{ }

{ }

□③ 2点(2, 7), (4, 3)を通る直線

{ }

□(4) 連立方程式 $\begin{cases} x+y=4 \dots(a) \\ 2x-y=5 \dots(b) \end{cases}$ の解をグラフにかいて求めなさい。

$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$

1

正負の数

確認問題

1 〔絶対値と数の大小〕 次の問いに答えなさい。

□(1) $-1, 1.5, -\frac{1}{3}, 0, \frac{1}{2}$ について、次の①、②に答えなさい。

□① 絶対値の小さい方から順に並べなさい。

[]

□② 小さい方から順に並べなさい。

[]

□(2) 絶対値が3より小さい整数をすべて答えなさい。

[]

2 〔正負の数の計算〕 次の計算をしなさい。

□(1) $5-12$

□(2) $-4-(-7)+(-1)$

[]

[]

□(3) $(-8)\times(-7)$

□(4) $8\div 6\times(-3)$

[]

[]

□(5) $15-4\times(-6)$

□(6) $-3^2+18\div(-3)^2$

[]

[]

□(7) $-12+(2-5)\times 6$

□(8) $4-(3-2^3)\times 5$

[]

[]

3 〔素因数分解〕 次の数を素因数分解しなさい。

□(1) 10

□(2) 18

[]

[]

□(3) 40

□(4) 84

[]

[]

4 〔正負の数の利用〕 次の表は、A～E 5 人の生徒のテストの得点から80点をひいた値を示している。A～E 5 人の平均点を求めなさい。

生徒	A	B	C	D	E
得点-80(点)	-9	+4	-14	+11	-7

□[]

ポイント

1 絶対値と数の大小

(1)① 絶対値は、+、-の符号を取り去った数になる。

② 数直線上に表して調べる。負の数は、絶対値が大きいほど小さい。

(2) 絶対値は、数直線上では原点からの距離である。

2 正負の数の計算

(2) かっこのない式になおすと、 $-4+7-1$

(3)(4) まず、答えの符号を決めて、絶対値を計算する。

(5)~(8) 累乗→()の中→乗除→加減の順に計算する。

(6) -3^2 と $(-3)^2$ のちがいに注意。

$$-3^2 = -(3 \times 3)$$

$$(-3)^2 = (-3) \times (-3)$$

3 素因数分解

素数を用いた積の形で表す。同じ数の積は指数を用いて累乗の形で表す。

4 正負の数の利用

(平均点) = $80(\text{点}) + (80\text{点との差の平均})$

表から80点との差の平均を求め、これを80に加える。

練成問題

1 次の計算をしなさい。

□(1) $7 + (-9) - (-12)$

□(2) $\frac{1}{6} - \frac{1}{3} + \frac{1}{2}$

□(3) $\frac{4}{5} \times \left(-\frac{5}{6}\right) \div \frac{2}{3}$

{ }

{ }

{ }

□(4) $3 \times (2 - 9) - 15 \div (-3)$

□(5) $-\frac{3}{4} \div 1\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$

□(6) $-4^2 \times 3 - (-2)^3$

{ }

{ }

{ }

□(7) $32 \times \left(-\frac{7}{8} - \frac{3}{4}\right) - 19$

□(8) $11 + \{-7 - (9 - 15) \div 2\}$

□(9) $3 \times 2^2 + (1 - 3)^3 \div 4 - 1$

{ }

{ }

{ }

2 次の問いに答えなさい。

□(1) $\frac{2}{3}$, -2.5 , $\frac{3}{5}$, 2 のうち、絶対値が最も大きい数と、絶対値が最も小さい数との積を求めなさい。

{ }

□(2) $-\frac{8}{3}$ と 3.2 の間には整数が何個あるか。

{ }

□(3) 数直線上で、 -3 からの距離が 5 である 2 数を求めなさい。

{ }

□(4) 絶対値が 2 より大きく、 5 より小さい整数をすべて答えなさい。

{ }

3 次の数を素因数分解しなさい。

□(1) 16

□(2) 72

□(3) 315

{ }

{ }

{ }

4 次の表は、A～F 6人の生徒の体重を、Cの体重を基準にして、基準より重いものを正、軽いものを負として、そのちがいを示したものである。これについて次の問いに答えなさい。

生徒	A	B	C	D	E	F
基準とのちがい(kg)	+7	-5	0	+9	-8	+3

□(1) 最も体重の重い生徒と、最も体重の軽い生徒との体重の差を求めなさい。

{ }

□(2) Aの体重が 54kg のとき、6人の体重の平均を求めなさい。

{ }

2

文字式

確認問題

1 [文字式の表し方] 次の式を, $\times$, $\div$ の記号を使わないで表しなさい。

□(1) $y \times x \times (-1)$

□(2) $a \times 3 \times b \times a \times a$

[] []

□(3) $x \div y \times 5$

□(4) $(a-b) \div 3 - c \times 2$

[] []

2 [文字式のつくり方] 次の数量を, 文字を使った式で表しなさい。

□(1) 1個 a 円の品物を7個買って, 1000円出したときのおつり

[]

□(2) 20kmの道のりを, 時速 x kmで進むときにかかる時間

[]

□(3) $x\%$ の食塩水 y gにふくまれる食塩の量

[]

3 [式の値] 次の問いに答えなさい。

□(1) $a=6$, $b=-2$ のとき, $-3a-4b$ の値を求めなさい。

[]

□(2) $x=-4$, $y=3$ のとき, $2x^2+xy$ の値を求めなさい。

[]

4 [文字式の計算] 次の計算をしなさい。

□(1) $6x-3x+x$

□(2) $2a-7-5a+8$

[] []

□(3) $(3x-8)+(4x+3)$

□(4) $(2a+4)-(9-6a)$

[] []

□(5) $5(2a-3)$

□(6) $(18x-9) \div (-3)$

[] []

□(7) $3(a-2)+2(3a-4)$

□(8) $4(3x+1)-3(2x-5)$

[] []

ポイント

1 文字式の表し方

〈積の表し方〉

- ・ $\times$ の記号をはぶく。
- ・ 同じ文字の積は累乗で表す。
- ・ 1や-1と文字の積では, 1をはぶく。

〈商の表し方〉

- ・ 分数の形で表す。

2 文字式のつくり方

(2) 道のり = 速さ $\times$ 時間

$\Rightarrow$ 時間 = $\frac{\text{道のり}}{\text{速さ}}$

(3) $1\% \rightarrow \frac{1}{100}$

$\Rightarrow a\% \rightarrow \frac{a}{100}$

3 式の値

負の数を代入するときは, かっこをつける。

(2) $2 \times (-4)^2 + (-4) \times 3$

4 文字式の計算

(3)(4) かっこをはずして, 同類項をまとめる。

・ $a+(b+c)=a+b+c$

・ $a-(b+c)=a-b-c$

(5)~(8) 分配法則を使って, かっこをはずす。

・ $a(b+c)=ab+ac$

・ $(a+b) \div c = \frac{a}{c} + \frac{b}{c}$

3

1 次方程式

確認問題

1 [方程式の解法] 次の方程式を解きなさい。

□(1) $\frac{1}{4}x=5$

□(2) $-3x=18$

[]

[]

□(3) $4x-5=-9$

□(4) $3x-12=5x$

[]

[]

□(5) $10x-8=4x-11$

□(6) $6-7x=1-2x$

[]

[]

2 [いろいろな方程式の解法] 次の方程式、比例式を解きなさい。

□(1) $4(x-3)=x+6$

□(2) $2x-3(1-x)=17$

[]

[]

□(3) $1.2x-2.1=0.5x$

□(4) $0.02x+0.3=0.08x+0.6$

[]

[]

□(5) $\frac{x}{3}=\frac{x-1}{5}+1$

□(6) $15:x=10:6$

[]

[]

3 [方程式の解] x についての方程式 $ax-3=2x+a$ の解が $x=-4$ のとき、 a の値を求めなさい。

□[]

4 [代金に関する問題] 1個50円のアメと1個80円のチョコレートを合わせて15個買い、990円払った。このとき次の問いに答えなさい。

□(1) アメの個数を x 個とすると、チョコレートの個数を x の式で表しなさい。

[]

□(2) アメを何個買ったか求めなさい。

(式)

[]

ポイント

1 方程式の解法

- (1) 両辺に同じ数をかける。
- (2) 両辺を同じ数でわる。
- (3)~(6) x をふくむ項を左辺に、数の項を右辺に移項してまとめる。

2 いろいろな方程式の解法

- (1)(2) 分配法則を使ってかっこをはずす。
- (3)(4) 両辺に10, 100, ... をかけて、係数を整数にする。
- (5) 両辺に分母の最小公倍数をかけて、係数を整数にする。
- (6) 内側の積と外側の積が等しい。 $x \times 10 = 15 \times 6$

3 方程式の解

方程式に x の値を代入して、 a についての方程式をつくる。

4 代金に関する問題

(1)

(2) (アメの代金)+(チョコレートの代金)=990(円)

5 (過不足に関する問題) 鉛筆を何人かの子どもに配るのに、1人に3本ずつ配ると9本余り、1人に5本ずつ配ると15本不足する。このとき次の問いに答えなさい。

□(1) 子どもの人数を x 人として、鉛筆の本数を x を用いて2通りの式で表しなさい。

[] []

□(2) 子どもの人数と鉛筆の本数を求めなさい。

(式)

子どもの人数[], 鉛筆の本数[]

6 (速さに関する問題) A君が、家から駅へ行くのに、時速3kmで歩いて行くより、時速12kmの自転車で行く方が30分早く着くという。このとき次の問いに答えなさい。

□(1) 家から駅までの道のりを x kmとして、歩いて行くときと、自転車で行くときにかかる時間をそれぞれ x の式で表しなさい。

歩き[], 自転車[]

□(2) 家から駅までの道のりを求めなさい。

(式)

[]

7 (割合に関する問題) ある商品に2割の利益を見込んで定価をつけたが、売れないので定価より300円安く売ったら、600円の利益があった。このとき次の問いに答えなさい。

□(1) この商品の原価を x 円として、売り値を x の式で表しなさい。

[]

□(2) この商品の原価を求めなさい。

(式)

[]

8 (濃度に関する問題) 8%の食塩水200gに水を加えて、5%の食塩水をつくりたい。このとき次の問いに答えなさい。

□(1) 加える水を x gとするとき、5%の食塩水の重さを x の式で表しなさい。

[]

□(2) 何gの水を加えればよいか。

(式)

[]

5 過不足に関する問題

(2) (1)で求めた2式は等しい。

6 速さに関する問題

$$\text{時間} = \frac{\text{道のり}}{\text{速さ}}$$

(2) (自転車で行く時間) = (歩いて行く時間) - $\frac{30}{60}$ (時間)

7 割合に関する問題

(1) 定価は原価の $(1+0.2) = 1.2$ 倍 $\rightarrow 1.2x$ 円

(2) (売り値) - (原価) = (利益)

8 濃度に関する問題

(2) 食塩の重さ = 食塩水の重さ $\times \frac{\text{濃度}(\%)}{100}$
 (8%の食塩水にふくまれる食塩の重さ) = (5%の食塩水にふくまれる食塩の重さ)

練成問題

1 次の方程式を解きなさい。

□(1) $-\frac{3}{5}x=9$

□(2) $-5x=15-2x$

[]

[]

□(3) $14+2x=5x-10$

□(4) $-8x-13=13x+5$

[]

[]

2 次の方程式、比例式を解きなさい。

□(1) $2(3x-2)=4-(x-6)$

□(2) $4(3x+8)=19-3(x-11)$

[]

[]

□(3) $0.25x-1=0.3x-0.65$

□(4) $3.5x-14=1-0.5(x-2)$

[]

[]

□(5) $-\frac{2}{3}x+5=\frac{5}{6}x-1$

□(6) $\frac{3x+1}{5}=\frac{x+3}{3}$

[]

[]

□(7) $\frac{4x-5}{6}-\frac{3}{4}(x-1)=1$

□(8) $4:(x+10)=3:6$

[]

[]

3 次の問いに答えなさい。

□(1) x についての方程式 $ax-3(x-a)=4$ の解が $x=-8$ のとき、 a の値を求めなさい。

[]

□(2) x についての方程式 $x-\frac{x-a}{4}=5$ の解が、 $3x+6=5x-6$ の解と等しくなるとき、 a の値を求めなさい。

[]

□(3) ある数 x から 4 をひいた差の 7 倍が、 x の 5 倍と 2 との和に等しいとき、 x を求めなさい。

(式)

[]

4 A は 960 円、B は 640 円持っていて、A も B も同じ本を買ったところ、A の残金は B の残金の 3 倍より 60 円少なくなった。本の代金を求めなさい。

(式)

□[]

5 一の位の数 9 である 2 けたの自然数がある。この数の十の位の数字と一の位の数字を入れかえた数は、もとの数の 2 倍より 15 大きいという。これについて次の問いに答えなさい。

□(1) もとの自然数の十の位の数字を x とすると、十の位の数字と一の位の数字を入れかえた数を、 x の式で表しなさい。

[]

□(2) もとの自然数を求めなさい。

(式)

[]

6 クラス会をするため、 1 人 500 円ずつ集めたところ、予定の費用より 1000 円不足した。そこで、追加して 1 人 50 円ずつ集めたところ、 900 円余った。このとき、クラスの人数と予定の費用を求めなさい。

(式)

□クラスの人数[], 予定の費用[]

7 A 地を出発し B 地まで 3 日かけて歩いた。1日目は 24 km歩き、2日目は B 地までの残りの道のりの $\frac{5}{8}$ を歩いた。3日目は A 地から B 地までの道のりの $\frac{1}{4}$ を歩いて B 地に着いた。 A 地から B 地までの道のりは何kmか。

(式)

□[]

8 ある人が、 A 地から 1.8 km離れた B 地へ行くのに、一定の速さで歩き出した。20分かけて B 地に着く予定であったが、疲れたので、途中の C 地から速さを変え毎分 60 mの速さで歩いたところ、予定より6分遅れて着いた。 C 地から B 地までの道のりは何mか。

(式)

□[]

9 銅をふくむ合金 A 、 B がある。 A 25 kg、 B 20 kgをとかし合わせたら、 60% の銅をふくむ合金 C ができた。 A が 80% の銅をふくんでいるとき、 B は何%の銅をふくんでいるか。

(式)

□[]

10 ある中学校の2年生は女子が男子より 30 人少なく、 25 m泳げる人数の割合は男子では 24% 、女子では 15% で、全体として 20% である。男子の人数を求めなさい。

(式)

□[]

4

比例・反比例

確認問題

1 [比例] 次の問いに答えなさい。

□(1) y は x に比例し、 $x=-2$ のとき $y=6$ である。次の①、②に答えなさい。

□① y を x の式で表しなさい。

[]

□② $x=3$ のときの y の値を求めなさい。また、 $y=15$ のときの x の値を求めなさい。

y の値[], x の値[]

□(2) 60L入る容器に、毎分4Lの割合で満水になるまで水を入れていくとき、水を入れ始めてから x 分後の水の量を y Lとして、次の①、②に答えなさい。

□① y を x の式で表しなさい。

[]

□② x と y の変域を求めなさい。

x の変域[], y の変域[]

2 [反比例] 次の問いに答えなさい。

□(1) y は x に反比例し、 $x=5$ のとき $y=8$ である。次の①、②に答えなさい。

□① y を x の式で表しなさい。

[]

□② $x=-2$ のときの y の値を求めなさい。また、 $y=10$ のときの x の値を求めなさい。

y の値[], x の値[]

□(2) 1時間に0.5Lの割合で使えば、36時間使える燃料がある。この燃料を1時間に x Lの割合で使うと y 時間使えるとして、次の①、②に答えなさい。

□① y を x の式で表しなさい。

[]

□② 60時間で使い切るには、1時間に何Lの割合で使えばよいか。

[]

ポイント

1 比例

(1)① y が x に比例 $\Leftrightarrow y=ax$

この式に、 x 、 y の値を代入し、比例定数 a の値を求める。

(2)① x 分間に $4 \times x$ (L)入る。

② 変域とは、変数のとり得る値の範囲のこと。

$60 \div 4 = 15$ (分)で、容器はいっぱいになる。

2 反比例

(1)① y が x に反比例 $\Leftrightarrow y=\frac{a}{x}$

この式に、 x 、 y の値を代入し、比例定数 a の値を求める。

(2)① 燃料は 0.5×36 (L)ある。1時間に使う量と使える時間は反比例する。

4 [おうぎ形の弧の長さや面積] 次の問いに答えなさい。

□(1) 次の図のおうぎ形の弧の長さや面積は、それぞれ同じ半径の円の何倍か。

□①

[,]

□②

[,]

□(2) 次のおうぎ形の弧の長さや面積を求めなさい。

□① 半径4cm, 中心角90°

□② 半径9cm, 中心角150°

[,]

[,]

□(3) 半径6cm, 弧の長さが 4π cmのおうぎ形の中心角を求めなさい。

[]

□(4) 次の図の部分のまわりの長さや面積を求めなさい。

□①

[,]

□②

[,]

5 [図形の移動] 右の図のア～エは、ある移動によっ

てできる三角形を示したものである。次の問いに答えなさい。

□(1) 次の移動は、平行移動、回転移動、対称移動のいずれかの移動である。それぞれどの移動か答えなさい。

ア→イ[], イ→ウ[], ウ→エ[]

□(2) (1)において、平行移動によってできた図形はもとの図形を何cm平行移動したものが答えなさい。

[]

□(3) (1)において、回転移動によってできた図形はもとの図形を時計回りに何度回転させたものが答えなさい。

[]

□(4) アの三角形をエの三角形に重ねるには2回の移動でできる。考えられる2回の移動を2通り書きなさい。

[], []

4 おうぎ形の弧の長さや面積

(1) 中心角が a° のおうぎ形の弧の長さや面積は、それぞれ同じ半径の円の $\frac{a}{360}$ 倍になる。

(2) おうぎ形の半径を r , 中心角を a° , 弧の長さを l , 面積を S とすると,

$$l = 2\pi r \times \frac{a}{360}$$

$$S = \pi r^2 \times \frac{a}{360}$$

(4)① 半径10cm, 中心角90°のおうぎ形が2つ組み合わさっている。

② 半径4cm, 中心角90°のおうぎ形の面積から等しい辺が4cmの直角二等辺三角形の面積をひいたものを2倍する。

5 図形の移動

- ・平行移動…図形を一定の方向に、一定の距離だけ動かす移動。
- ・回転移動…図形を1つの点(回転の中心という)を中心として、ある角度だけ回転させる移動。
- ・対称移動…図形をある直線(対称の軸という)を折り目として折り返す移動。

練成問題

1 右の図の正方形 ABCD について、次の問いに答えなさい。

□(1) 次の位置関係をそれぞれ記号を使って表しなさい。

□① AD と BC

□② AC と BD

{ } { }

□(2) アの角を記号を使って表しなさい。

{ }

□(3) 点 A と直線 DC との距離を表す線分を答えなさい。

{ }

2 次の(1)~(4)の作図をしなさい。

□(1) $\angle PAQ = 90^\circ$ になるような直線 l 上の点 Q

□(2) 直線 AB 上の点 P を頂点とし、PB を辺とする 45° の角

A •

□(3) 長方形 ABCD を、点 A が点 C に重なるように折るとき、その折り目の線

□(4) $\angle AOB$ の辺 OA 上の点 P で辺 OA に接し、辺 OB にも接する円

3 右の図について、次の(1), (2)の作図をしなさい。

□(1) 直線 l について点 A と対称な点 A'

A •

B •

□(2) 直線 l 上に点 P を $AP + PB$ の長さが最も短くなるようにとるとき、点 P

4 次の問いに答えなさい。

□(1) 次のおうぎ形の弧の長さや面積を求めなさい。

□① 半径 8cm, 中心角 135°

□② 半径 5cm, 中心角 150°

□③ 直径 12cm, 中心角 210°

{ , } { , } { , }

□(2) 半径 8cm, 弧の長さが 14π cm のおうぎ形の中心角を求めなさい。

{ }

□(3) 直径 30cm, 弧の長さが 24π cm のおうぎ形の中心角を求めなさい。

{ }

□(4) 次の部分のまわりの長さや面積を求めなさい。

□①

□②

□③

{ , } { , } { , }

5 右の図は、犬が小屋の点 A とくさりでつながれているようすを表している。くさりの長さが 2m のとき、犬が小屋のまわりを動くことのできる面積を求めなさい。ただし、小屋の面積はふくめないものとする。

□{ }

6 右の図で、 $\triangle ABC$ を直線 l を軸に対称移動を行ったものを $\triangle A'B'C'$ 、 $\triangle A'B'C'$ を直線 m を軸に対称移動を行ったものを $\triangle A''B''C''$ とする。 $\triangle ABC$ を 1 回の移動で $\triangle A''B''C''$ に移すには、どのような移動をすればよいか簡単に説明しなさい。

□ { }

7 右の図の線分 CD は、線分 AB を回転移動させてできたものである。この移動の回転の中心 O を右の図に作図して求めなさい。

6

空間図形

確認問題

1 (いろいろな立体) 次のア～エの立体について、あとの問いに答えなさい。

□(1) ア～エの立体の名称を答えなさい。

[, , ,]

□(2) イの立体で、ABが9cm、OBが3cmのとき、展開図の側面のおうぎ形の中心角を求めなさい。

[]

2 (直線・平面の位置関係) 右の三角柱は、直方体を平面BCFEで切りとったものである。これについて次の問いに答えなさい。

□(1) 辺ABと平行な辺を答えなさい。

[]

□(2) 辺ABとねじれの位置にある辺をすべて答えなさい。

[]

□(3) 面ABEDと垂直な辺をすべて答えなさい。

[]

□(4) 面ABCと平行な辺をすべて答えなさい。

[]

3 (回転体) 右の図のような長方形を、直線 l を軸にして、1回転してできる立体について、次の問いに答えなさい。

□(1) できる立体の名称を答えなさい。

[]

□(2) この立体を、次のように切るとき、切り口の図形の名称を答えなさい。

□① 回転の軸をふくむ平面で切るとき

[]

□② 回転の軸に垂直な平面で切るとき

[]

ポイント

1 いろいろな立体

(2) イを展開図に表すと、側面はおうぎ形になり、弧の長さは底面の円周の長さと等しくなる。

2 直線・平面の位置関係

(1) 辺ABと同一平面上にあって交わらない辺を考える。

(2) 辺ABと交わらず、平行でない辺を考える。

(4) 面ABCと交わらない辺を考える。

3 回転体

(2) 回転体を、回転の軸をふくむ平面で切ると、切り口は回転の軸について線対称な図形になる。また、回転の軸に垂直な平面で切ると、切り口は円になる。

4 [正多面体] 右の図のような、立方体の各面の対角線の交点を結んでできる立体がある。この立体について、次の問いに答えなさい。

- (1) $\triangle ABC$ はどのような三角形か。
 { }
- (2) この立体の名称を答えなさい。
 { }
- (3) 辺ABと平行な辺を答えなさい。
 { }

5 [投影図] 次の問いに答えなさい。

□(1) 下の図のような投影図で示された立体の名称を答えなさい。

□①

□②

{ }

□(2) 右の図はある立体の投影図である。これについて次の問いに答えなさい。

□① この立体の名称を答えなさい。

{ }

□② この立体の見取図をかきなさい。

4 正多面体

多面体のうち、すべての面が合同な正多角形で、各頂点に同じ数の面が集まり、へこみのないものを正多面体という。

5 投影図

- ・ **投影図**…立体をある方向から見て、平面に表した図。
- ・ **立面図**…正面から見た投影図。
- ・ **平面図**…上から見た投影図。

6 [立体の表面積] 次の立体の表面積を求めなさい。

□(1) 円柱

{ }

□(2) 正四角錐

{ }

□(3) 球

{ }

7 [立体の体積] 次の問いに答えなさい。

□(1) 次の立体の体積を求めなさい。

□① 三角柱

{ }

□② 円錐

{ }

□③ 球

{ }

□(2) 次の図形を、直線 l を軸にして回転させたときにできる立体の体積を求めなさい。

□①

{ }

□②

{ }

□③

{ }

6 立体の表面積

角柱・円柱の表面積

$$= \text{側面積} + \text{底面積} \times 2$$

角錐・円錐の表面積

$$= \text{側面積} + \text{底面積}$$

半径 r の球の表面積

$$= 4\pi r^2$$

7 立体の体積

角柱・円柱の体積

$$= \text{底面積} \times \text{高さ}$$

角錐・円錐の体積

$$= \frac{1}{3} \times \text{底面積} \times \text{高さ}$$

半径 r の球の体積

$$= \frac{4}{3} \pi r^3$$

(2)② 底面の半径が6 cm,

高さが8 cmの円錐の体積から、底面の半径が3 cm, 高さが4 cmの円錐の体積をひいて求める。

③ 半径5 cmの半球になる。半球の体積は、同じ半径の球の半分である。

練成問題

1 右の図形を、直線 l を軸として1回転させてできる立体について、次の問いに答えなさい。

□(1) この立体を、軸に垂直な平面で切るとき、切り口の図形の名称を答えなさい。

{ }

□(2) この立体を、軸をふくむ平面で切るとき、切り口の図形の名称を答えなさい。

{ }

□(3) この立体の表面積を求めなさい。

{ }

2 右の図は、底面が正五角形の五角柱である。これについて次の問いに答えなさい。

□(1) 辺CHと垂直な面をすべて答えなさい。

{ }

□(2) 辺ABとねじれの位置にある辺をすべて答えなさい。

{ }

3 右の図は、正四面体の展開図である。これについて次の問いに答えなさい。

□(1) この展開図を組み立てるとき、点Fと重なる点はどれか。

{ }

□(2) この展開図を組み立ててできる正四面体で、辺ABとねじれの位置にある辺はどれか。

{ }

4 右の図1は立方体で、図2はその展開図を表している。これについて次の問いに答えなさい。

□(1) 面ABCDと平行な面を、図2の ア ～ オ の中から選び、記号で答えなさい。

{ }

□(2) 図1の3点B, D, Gを結んでできる3本の線分は図2の展開図ではどのようなになるか。図2の展開図に、その線分をかきなさい。

5 右の図は円柱の投影図で、平面図はまだかかれていない。これについて次の問いに答えなさい。
ただし、方眼の1目盛りを1cmとする。

□(1) 右の図に平面図をかき入れ、投影図を完成させなさい。

□(2) 円柱の高さを求めなさい。

{ }

□(3) 側面の展開図は長方形になる。側面の長方形の横(長い方の辺)の長さを求めなさい。

{ }

6 次の立体の表面積を求めなさい。

□(1) 四角柱

{ }

□(2) 円柱

{ }

□(3) 正四角錐

{ }

□(4) 半球

{ }

7 右の図のように、側面にペンキをぬった円錐を母線OAが床につくようにたおし、この円錐を頂点Oを中心として母線OAが再び床につくまで1回転させた。このとき、ペンキがついた部分の面積を求めなさい。

□{ }

8

式の計算

ポイント ① 多項式の加法・減法

例 (1) $(a+3b)+(2a-5b)$ } かっこをはずす
 $=a+3b+2a-5b$
 $=a+2a+3b-5b$ } 同類項をまとめる
 $=3a-2b$

(2) $(2x-5y)-(7x-6y)$ } かっこをはずす
 $=2x-5y-7x+6y$
 $=2x-7x-5y+6y$
 $=-5x+y$ } 同類項をまとめる

確認問題 ① 次の計算をしなさい。

□(1) $(2a+b)+(a+5b)$

□(2) $(3a+b)+(5a-2b)$

□(3) $(4x-2y)+(3x-5y)$

□(4) $(4x-3y)-(2x+y)$

□(5) $(3a-2b)-(2a-b)$

□(6) $(a-3b)-(-2a-3b)$

□(7) $(a-8)-(2a-5b+1)$

□(8) $(5x-2y-1)-(x-3y)$

ポイント ② 多項式と数の乗法・除法

例 (1) $4(3a+5b)$ } 分配法則
 $=4 \times 3a + 4 \times 5b$
 $=12a+20b$

(2) $(6x-15y) \div 3$ } 分配法則
 $=\frac{6x}{3} - \frac{15y}{3}$
 $=2x-5y$

(3) $(8a-2b) \div \left(-\frac{2}{5}\right)$ } 分配法則
 $= (8a-2b) \times \left(-\frac{5}{2}\right)$
 $= 8a \times \left(-\frac{5}{2}\right) - 2b \times \left(-\frac{5}{2}\right)$
 $= -20a+5b$

* (3)は乗法になおして計算する。

確認問題 ② 次の計算をしなさい。

□(1) $3(a-2b)$

□(2) $-5(6x-2y)$

□(3) $(35a-15b) \div 5$

□(4) $(-16a+12b) \div (-4)$

□(5) $(5x-10y) \div \left(-\frac{5}{3}\right)$

□(6) $(9x+12y-15) \div \frac{3}{4}$

ポイント 3 四則混合計算

例 (1) $3(2a+b) - 2(a+4b)$
 $= 6a + 3b - 2a - 8b$ ← 分配法則
 $= 4a - 5b$

* (2)は方程式ではないので、分母を払うことはできない。通分して計算することに注意。

(2) $\frac{3x-y}{4} - \frac{x-4y}{3}$ ← 通分する
 $= \frac{3(3x-y) - 4(x-4y)}{12}$
 $= \frac{9x - 3y - 4x + 16y}{12}$ ← 分子を整理
 $= \frac{5x + 13y}{12}$

確認問題 3 次の計算をしなさい。

□(1) $2(3a+b) + 3(a-5b)$

□(2) $7(x-2y) - 3(5x-3y)$

{ }

{ }

□(3) $2(a^2-3a) + 4(2a^2+a)$

□(4) $5(a^2+3a) - 4(a^2-2a)$

{ }

{ }

□(5) $\frac{x}{2} + \frac{x-y}{4}$

□(6) $\frac{a-2b}{3} - \frac{a+5b}{6}$

{ }

{ }

□(7) $\frac{a-3b}{2} + \frac{2a+b}{3}$

□(8) $\frac{3x-2y}{4} - \frac{x-y}{3}$

{ }

{ }

ポイント 4 単項式の乗法・除法

例 (1) $(-3a)^2 \times 4b$
 $= (-3a) \times (-3a) \times 4b$
 $= 36a^2b$

(2) $18a^3b \div 6ab$
 $= \frac{18a^3b}{6ab}$
 $= \frac{\overset{3}{18} \times \overset{1}{a} \times \overset{1}{a} \times \overset{1}{a} \times \overset{1}{b}}{\underset{1}{6} \times \underset{1}{a} \times \underset{1}{b}} = 3a^2$

(3) $(-8x^2) \div \frac{2}{3}x$
 $= -8x^2 \times \frac{3}{2x}$
 $= -\frac{\overset{4}{8} \times \overset{1}{x} \times \overset{1}{x} \times \overset{3}{3}}{\underset{1}{2} \times \underset{1}{x}} = -12x$

確認問題 4 次の計算をしなさい。

□(1) $4a \times 5b$

□(2) $4xy \times (-2x)$

□(3) $(-2x)^2 \times 6xy$

{ }

{ }

{ }

□(4) $36a^2b \div 4a$

□(5) $(-15ab) \div 3b$

□(6) $6xy^2 \div \left(-\frac{3}{4}xy\right)$

{ }

{ }

{ }

□(7) $2xy \times (-9x^2) \div 6y$

□(8) $(-4a)^2 \div 8a^3 \times 5ab$

{ }

{ }

練成問題

1 次の計算をしなさい。

$$\square(1) \quad -7x+6y+5x-2y$$

$$\square(2) \quad 4a-10b-5a-2b$$

[]

[]

$$\square(3) \quad (5a+6b)+(3a-4b)$$

$$\square(4) \quad (8a^2-9a)+(2a^2+6a)$$

[]

[]

$$\square(5) \quad (2x-y)-(3x-5y)$$

$$\square(6) \quad (a-3b)-(-2a+5b-10)$$

[]

[]

$$\square(7) \quad (a-2b-3)-(3a-b+5)$$

$$\square(8) \quad (2x^2-xy+6y^2)-(3x^2-2xy+5y^2)$$

[]

[]

2 次の計算をしなさい。

$$\square(1) \quad 2(5a-6b)$$

$$\square(2) \quad (-4a+7b) \times (-3)$$

[]

[]

$$\square(3) \quad (24x^2-6x+12) \div 6$$

$$\square(4) \quad (-20x+28y-32) \div (-4)$$

[]

[]

$$\square(5) \quad \frac{2}{3}(6a+18b-3c)$$

$$\square(6) \quad (4a-12b-16c) \times \left(-\frac{3}{4}\right)$$

[]

[]

[]

[]

$$\square(7) \quad (-5x^2+20x-15) \div \left(-\frac{5}{4}\right)$$

$$\square(8) \quad (35a-49b-42) \div \left(-\frac{7}{3}\right)$$

[]

[]

[]

[]

3 次の計算をしなさい。

□(1) $3(x-2y-1)+2(-x+2y)$

□(2) $2(4a^2-3a)-5(a^2-2a)$

□(3) $5(x-3y-4)-3(x-y-3)$

□(4) $-2(a^2-3a-1)-4(a^2-a-1)$

□(5) $\frac{a+b}{2} + \frac{3a-4b}{5}$

□(6) $\frac{4}{3}x - \frac{4x-y}{6}$

□(7) $\frac{7x-4y}{6} - \frac{3x+2y}{4}$

□(8) $\frac{5a-b}{4} - a - 3b$

4 次の計算をしなさい。

□(1) $3xy \times (-5x^2y)$

□(2) $(-2ab) \times (-3a^2b)$

□(3) $(-3a)^2 \times (-2b)$

□(4) $(-2a)^3 \times \frac{3}{4}ab$

□(5) $15a^3b^4 \div (-3ab^2)$

□(6) $-12a^2b^3 \div 9a^2b$

□(7) $\frac{3}{2}a^2b \div \left(-\frac{3}{4}a\right)$

□(8) $(-2a) \times (-3ab) \times (-b^2)$

□(9) $6a^3b \times (-3ab^3) \div 9a^2b$

□(10) $\frac{2}{3}x^2 \div \left(-\frac{1}{2}x\right)^2 \times \frac{9}{8}x$

9

式の計算の利用

ポイント ① 式の値

例題 $a=3, b=-2$ のとき, $12a^3b \div 6a^2 \times (-2b)$ の値を求めなさい。

解法 与えられた式をできるだけ簡単にしてから, 代入する。

$$12a^3b \div 6a^2 \times (-2b) = 12a^3b \times \frac{1}{6a^2} \times (-2b) = -\frac{12a^3b \times 2b}{6a^2} = -4ab^2$$

この式に $a=3, b=-2$ を代入すると, $-4 \times 3 \times (-2)^2 = -48$

確認問題 1 $x=2, y=-3$ のとき, 次の式の値を求めなさい。

□(1) $(-2xy)^2 \div 2x$

□(2) $x^2 \times (-3xy) \div 4$

□(3) $2(x-y) - 3(x-2y)$

□(4) $3(x-2y-1) - 2(x-y)$

ポイント ② 等式の変形

例題 次の等式を, []内の文字について解きなさい。

(1) $4x - 3y = 8$ [x]

(2) $V = \frac{1}{3}abc$ [c]

解法 等式の性質を利用して, (求める文字)=~ の形に変形する。

(1) $4x - 3y = 8$

$$\begin{aligned} 4x - 3y &= 8 && \left. \begin{array}{l} -3y \text{を移項} \\ 4x = 3y + 8 \end{array} \right\} \\ x = \frac{3y+8}{4} && \left. \begin{array}{l} \text{両辺を4でわる} \\ x = \frac{3y+8}{4} \end{array} \right\} \\ x = \frac{3}{4}y + 2 && \text{でもよい。} \end{aligned}$$

(2) $V = \frac{1}{3}abc$

$$\begin{aligned} \frac{1}{3}abc &= V && \left. \begin{array}{l} \text{左辺と右辺を入れかえる} \\ \frac{1}{3}abc = V \end{array} \right\} \\ abc &= 3V && \left. \begin{array}{l} \text{両辺に3をかける} \\ abc = 3V \end{array} \right\} \\ c &= \frac{3V}{ab} && \left. \begin{array}{l} \text{両辺を} ab \text{でわる} \\ c = \frac{3V}{ab} \end{array} \right\} \end{aligned}$$

確認問題 2 次の等式を []内の文字について解きなさい。

□(1) $S = 3ab$ [a]

□(2) $2x + y = 10$ [y]

□(3) $\frac{x}{3} + \frac{y}{2} = 1$ [y]

□(4) $4x - 5y = 10$ [y]

□(5) $n = \frac{a+b}{2}$ [a]

□(6) $c = \frac{1}{7}(4a+3b)$ [b]

4 次の問いに答えなさい。ただし、円周率は π とする。

□(1) 2つの円P, Qがある。Pの半径は r cmで、Qの半径はPの半径よりも a cm長い。Qの円周はPの円周より何cm長いか。

[]

□(2) 底辺が a cm, 高さが h cmの三角形Aがある。この三角形の底辺を6倍にし、高さを $\frac{1}{4}$ 倍にした三角形Bをつくるとき、Bの面積はAの面積の何倍か。

[]

□(3) 体積の等しい2つの直方体M, Nがある。Nは、縦の長さがMの3倍、横の長さがMの2倍である。このとき、Nの高さはMの高さの何倍か。

[]

□(4) 右の図のような長方形ABCDを、辺ABを軸として1回転してできる円柱をP、辺BCを軸として1回転してできる円柱をQとすると、Qの体積はPの体積の何倍か。

[]

5 次の問いに答えなさい。

□(1) 連続した3つの奇数の和は3の倍数である。このわけを次のように説明した。[]にあてはまる式を入れなさい。

(説明) 連続した3つの奇数のうち、まん中の数を $2n+1$ (n は整数)とすると、3つの奇数は小さい方から順に、
 [], $2n+1$, []と表せる。だから、その和は、
 $([])+(2n+1)+([])=3([])$
 $[]$ は整数だから、 $3([])$ は3の倍数である。
 よって、連続した3つの奇数の和は3の倍数である。

□(2) 十の位が0でない3けたの整数をA、Aの百の位の数と十の位の数とを入れかえてできる整数をBとする。Aの百の位の数を a 、十の位の数を b 、一の位の数を c とすると、次の①、②に答えなさい。

□① A, Bをそれぞれ a, b, c の式で表しなさい。

A [], B []

□② AとBの差は90の倍数である。このわけを説明しなさい。

[]

ポイント ① 連立方程式とその解法

- (1) 2元1次方程式…2つの文字をふくむ1次方程式。
- (2) 連立方程式…2元1次方程式を2つ1組にしたもの。
- (3) 連立方程式の解…連立方程式を成り立たせる2つの文字の値の組。
- (4) 連立方程式の解き方…連立方程式の一方の文字を消去して、文字が1つだけの方程式を導く。

$$\begin{cases} x+y=3 \cdots \textcircled{1} \\ x-y=1 \cdots \textcircled{2} \end{cases} \text{の解は,}$$

- ① 代入法…代入によって文字を消去する方法。
- ② 加減法…2つの式をたすかひくかして、1つの文字を消去する方法。

例題 次の連立方程式を、(1)は代入法で、(2)は加減法で解きなさい。

$$(1) \begin{cases} x+3y=6 \cdots \textcircled{1} \\ y=x-2 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

解法 (1) ②を①に代入すると、

$$x+3(x-2)=6$$

$$x+3x-6=6, \quad x=3 \cdots \textcircled{3}$$

③を②に代入して、

$$y=3-2=1$$

答 $\begin{cases} x=3 \\ y=1 \end{cases}$

$$(2) \begin{cases} 5x+2y=4 \cdots \textcircled{1} \\ 2x-3y=13 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

(2) ①×3 15x + 6y = 12

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \times 2 \quad +) \quad 4x - 6y = 26 \\ \hline 19x \quad \quad = 38, \quad x=2 \cdots \textcircled{3} \end{array}$$

③を①に代入して、

$$10+2y=4 \text{ より, } y=-3$$

答 $\begin{cases} x=2 \\ y=-3 \end{cases}$

確認問題 ① 次の問いに答えなさい。

□(1) 次の連立方程式を代入法で解きなさい。

$$\square \textcircled{1} \begin{cases} y=2x \\ 5x-y=9 \end{cases}$$

$$\square \textcircled{2} \begin{cases} 4x+y=-5 \\ x=2y-8 \end{cases}$$

$$\square \textcircled{3} \begin{cases} x-3y=14 \\ y=x-6 \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

□(2) 次の連立方程式を加減法で解きなさい。

$$\square \textcircled{1} \begin{cases} x+y=11 \\ x-y=3 \end{cases}$$

$$\square \textcircled{2} \begin{cases} 3x+2y=17 \\ x-2y=-5 \end{cases}$$

$$\square \textcircled{3} \begin{cases} 3x+y=5 \\ 2x-3y=7 \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\square \textcircled{4} \begin{cases} 6x+5y=-3 \\ 2x-3y=13 \end{cases}$$

$$\square \textcircled{5} \begin{cases} 3x+4y=2 \\ 2x-3y=7 \end{cases}$$

$$\square \textcircled{6} \begin{cases} 3x-2y=9 \\ 7x+5y=-8 \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

ポイント 2 いろいろな連立方程式

例題 次の連立方程式を解きなさい。

$$(1) \begin{cases} 5x+2(x-y)=8 \cdots \cdots \textcircled{1} \\ -\frac{1}{4}x+\frac{1}{2}y=1 \cdots \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

$$(2) 2x-y=-2x+5y=4$$

解法 (1) かっこをはずしたり、分母をはらったりして、整理してから解く。

$$\textcircled{1} \text{を整理} \rightarrow 7x-2y=8 \cdots \cdots \textcircled{1}'$$

$$\textcircled{2} \times 4 \rightarrow -x+2y=4 \cdots \cdots \textcircled{2}'$$

$$\textcircled{1}' + \textcircled{2}' \text{より, } 6x=12, x=2 \cdots \textcircled{3}$$

$$\textcircled{3} \text{を} \textcircled{2}' \text{に代入して, } -2+2y=4 \text{より, } y=3$$

$$\text{答} \begin{cases} x=2 \\ y=3 \end{cases}$$

(2) $A=B=C$ の形の連立方程式は、 $A=B$, $A=C$, $B=C$ のうちの2つを連立させる。

$$\begin{cases} 2x-y=4 \cdots \cdots \textcircled{1} \\ -2x+5y=4 \cdots \cdots \textcircled{2} \end{cases} \text{を解く。}$$

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} \text{より, } 4y=8, y=2 \cdots \textcircled{3}$$

$$\textcircled{3} \text{を} \textcircled{1} \text{に代入して, } 2x-2=4 \text{より, } x=3$$

$$\text{答} \begin{cases} x=3 \\ y=2 \end{cases}$$

確認問題 2 次の連立方程式を解きなさい。

$$\square(1) \begin{cases} 2(x+6)=x+2y \\ 3x+2y=-4 \end{cases}$$

$$\square(2) \begin{cases} 0.6x-0.7y=-1 \\ 0.3x+0.1y=1.3 \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\square(3) \begin{cases} \frac{2}{3}x-\frac{y}{2}=2 \\ 3(x+y)-2y=22 \end{cases}$$

$$\square(4) 3x+7y=x-2y-8=1$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

ポイント 3 連立方程式の解と定数

例題 連立方程式 $\begin{cases} 2ax+by=8 \cdots \cdots \textcircled{1} \\ -ax+3by=10 \cdots \cdots \textcircled{2} \end{cases}$ の解が $x=2, y=1$ のとき、 a, b の値を求めなさい。

解法 連立方程式に $x=2, y=1$ を代入して、 a, b についての連立方程式をつくり、それを解く。

$$x=2, y=1 \text{を} \textcircled{1}, \textcircled{2} \text{にそれぞれ代入すると, } \begin{cases} 4a+b=8 \cdots \cdots \textcircled{1}' \\ -2a+3b=10 \cdots \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

$$\textcircled{1}' + \textcircled{2}' \times 2 \text{より, } 7b=28, b=4 \text{ これを} \textcircled{1}' \text{に代入して, } 4a+4=8, a=1$$

$$\text{答} a=1, b=4$$

確認問題 3 連立方程式 $\begin{cases} bx+ay=11 \\ ax+by=-16 \end{cases}$ の解が $x=1, y=-2$ のとき、 a, b の値を求めなさい。

$$\square [a = \quad , b = \quad]$$

ポイント 4 代金に関する問題

例題 ある植物園の入園料金は、大人200円、子ども90円である。ある日の入園者数は合計75人で、入園料金の合計は9500円であった。この日の大人と子どもの入園者数をそれぞれ求めなさい。

解法 入園者数を、大人 x 人、子ども y 人とする、
入園者数の合計が75人だから、 $x+y=75$ ……………①
入園料金の合計が9500円だから、 $200x+90y=9500$ ……②

①、②を連立して解くと、 $x=25$ 、 $y=50$

答 大人…25人、子ども…50人

確認問題 4 次の問いに答えなさい。

□(1) 30円の画用紙と50円の画用紙を合わせて20枚買った、代金の合計が860円であった。30円と50円の画用紙をそれぞれ何枚買ったか。

(式)

30円の画用紙〔 〕、50円の画用紙〔 〕

□(2) ノート5冊と消しゴム2個を買い、760円払った。このときのノート2冊の代金と消しゴム3個の代金は同じであった。ノート1冊、消しゴム1個の値段をそれぞれ求めなさい。

(式)

ノート〔 〕、消しゴム〔 〕

ポイント 5 整数に関する問題

例題 2けたの自然数がある。①十の位の数の2倍は一の位の数より1大きく、②十の位の数と一の位の数を入れかえた数は、もとの数より18大きくなるという。もとの自然数を求めなさい。

解法 もとの数の十の位の数を x 、一の位の数を y とすると、もとの数は、 $10x+y$ と表せる。また、十の位の数と一の位の数を入れかえた数は、 $10y+x$ と表せる。

下線部①より、 $2x=y+1$ ……………①

下線部②より、 $10y+x=(10x+y)+18$ …②

①、②を連立して解くと、 $x=3$ 、 $y=5$

答 35

確認問題 5 十の位の数が6である3けたの自然数Aがあり、各位の数の和は15である。Aの百の位の数と一の位の数を入れかえて3けたの自然数Bをつくると、BはAより99小さくなるという。Aの百の位の数を x 、一の位の数を y とするとき、次の問いに答えなさい。

□(1) 自然数A、Bをそれぞれ x 、 y の式で表しなさい。

A〔 〕、B〔 〕

□(2) 自然数Aを求めなさい。

(式)

〔 〕

練成問題

1 次の連立方程式を解きなさい。

$$\square(1) \begin{cases} 5x-2y=-3 \\ y=-3x+7 \end{cases}$$

$$\square(2) \begin{cases} 5x+4y=9 \\ -3x+2y=-23 \end{cases}$$

$$\square(3) \begin{cases} 4x+3y=13 \\ 3x-5y=17 \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

2 次の連立方程式を解きなさい。

$$\square(1) \begin{cases} 2x-5(x+y)=-7 \\ 6x-2y=17-9y \end{cases}$$

$$\square(2) \begin{cases} -0.3x+0.5y=-3.5 \\ \frac{1}{5}x-\frac{3}{4}y=4 \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\square(3) \begin{cases} 2(x-1)-3y=25 \\ 2y-\frac{x-1}{2}=-20 \end{cases}$$

$$\square(4) 3x+3y=4x+y=5x-2y+2$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

3 次の問いに答えなさい。

□(1) 2元1次方程式 $3x+2y=20$ を満たす正の整数 x, y の値の組は全部で何組あるか。

{ }

□(2) 次の2組の連立方程式が同じ解をもつとき、 a, b の値を求めなさい。

$$\begin{cases} 2x+3y=7 \\ ax+by=-6 \end{cases} \quad \begin{cases} bx-ay=8 \\ 2x-y=3 \end{cases}$$

{ $a=$, $b=$ }

4 1000円持って、A, B 2種類のケーキを買いに行ったところ、A 3個とB 2個をかうと70円不足し、A 2個とB 3個をかうと20円余ることがわかった。A 1個、B 1個の値段をそれぞれ求めなさい。

(式)

□A { }, B { }

- 5 1個の重さが400gの商品Aと、1個の重さが250gの商品Bがある。重さが850gの箱に商品A、Bを合わせて30個詰めて、全体の重さをちょうど10kgにしたい。商品A、Bをそれぞれ何個ずつ詰めればよいか。

(式)

$$\square A\{ \quad \quad \quad \}, B\{ \quad \quad \quad \}$$

- 6 大小2つの自然数があって、その2数の平均は36である。また、大きい数を小さい数でわると、商は4で余りは7になる。このような2数を求めなさい。

(式)

$$\square \text{大}\{ \quad \quad \quad \}, \text{小}\{ \quad \quad \quad \}$$

- 7 A君とB君の家は直線上にあり、6.1km離れていて、A君とB君の家の間に駅がある。A君、B君が朝7時に駅でおちあう約束をして、同時に家を出た。A君は徒歩で毎時4kmの速さで、B君は自転車ですべて15kmの速さで駅に向かったところ、A君は予定の時刻より4分遅れ、B君は予定の時刻より2分早く着いた。A君およびB君の家から駅までの距離をそれぞれ求めなさい。

(式)

$$\square \begin{cases} \text{A君の家から駅まで}\{ \quad \quad \quad \} \\ \text{B君の家から駅まで}\{ \quad \quad \quad \} \end{cases}$$

- 8 10%の食塩水と5%の食塩水を混ぜて、8%の食塩水を450gつくりたい。それぞれ何gずつ混ぜればよいか。

(式)

$$\square 10\% \text{の食塩水}\{ \quad \quad \quad \}, 5\% \text{の食塩水}\{ \quad \quad \quad \}$$

- 9 ある町内の子ども会が、サッカーの試合を見に行くことになった。入場料は、大人1000円、子ども600円である。この子ども会は、はじめ、入場料を全部で22200円と予定していた。ところが、当日、大人が2人、子どもが3人増えて入場料が団体扱いとなり、大人20%引き、子ども10%引きになったので、予定の金額より200円安くなった。子ども会が、はじめに予定していた大人の人数と子どもの人数をそれぞれ求めなさい。

(式)

$$\square \text{大人}\{ \quad \quad \quad \}, \text{子ども}\{ \quad \quad \quad \}$$

ポイント ① 1 次関数

- 1 次関数… y が x の関数で、 $y=ax+b$ (a, b は定数, $a \neq 0$)

という関係があるとき、 y は x の1次関数であるという。

$$y = \underbrace{ax}_{x \text{ に比例する部分}} + \underbrace{b}_{\text{定数の部分}}$$

例題 水が12L入っている容積60Lの水そうがある。この水そうに毎分8Lの割合で水を入れるとき、入れ始めてから x 分後の水そうにたまっている水全体の量を y Lとする。 y を x の式で表しなさい。

解法 x 分間に入る水の量は $8x$ Lで、はじめに12L入っているから、 $y=8x+12$ ⇐ y は x の1次関数

* 水がいっぱいになるには、 $(60-12) \div 8=6$ (分)かかるので、 x の変域は $0 \leq x \leq 6$

確認問題 ① 次の x, y の関係を式で表しなさい。また、 y が x の1次関数であるものには○、そうでないものには×をつけなさい。

□(1) 1辺の長さが x cmの正五角形の周の長さは y cmである。

[] []

□(2) 毎時 x kmの速さで走る自動車が y 時間に進む道のりは60kmである。

[] []

□(3) 長さ3mのリボンから、 x cmのリボンを6本切り取ったときの残りのリボンの長さを y cmとする。

[] []

ポイント ② 1 次関数の変化の割合

- 変化の割合… x の増加量に対する y の増加量の割合を変化の割合という。

1次関数 $y=ax+b$ では、変化の割合はつねに一定で、式中の a に等しい。

1次関数 $y=ax+b$ では、
変化の割合 = $\frac{y \text{ の増加量 }}{x \text{ の増加量}} = a$

例題 1次関数 $y=-2x+3$ について、 x の値が-1から2まで増加するとき、 x の増加量、 y の増加量、変化の割合を求めなさい。

解法 x の増加量 $=2-(-1)=3$

$x=-1$ のとき、 $y=-2 \times (-1)+3=5$

$x=2$ のとき、 $y=-2 \times 2+3=-1$ だから、

y の増加量 $=-1-5=-6$ ⇐ y の増加量=変化の割合 $\times x$ の増加量より、 $-2 \times 3=-6$ となる。

変化の割合 $=\frac{y \text{ の増加量 }}{x \text{ の増加量}} = \frac{-6}{3} = -2$ ⇐ $y=-2x+3$ の x の係数 -2 に等しい。

x	...	-1	0	1	2	3	...
y	...	5	3	1	-1	-3	...

確認問題 ② 次の1次関数について、 x の値が2から6まで増加するとき、 y の増加量、変化の割合を求めなさい。

□(1) $y=3x+4$

□(2) $y=-\frac{1}{2}x-5$

y の増加量 []
変化の割合 []

y の増加量 []
変化の割合 []

ポイント 3 1次関数のグラフ

- 1次関数 $y=ax+b$ のグラフ… $y=ax$ (比例)のグラフを、 y 軸の正の方向に **b** だけ平行移動した直線である。
- 傾きと切片… $y=ax+b$ のグラフで、 **a** を傾き、 **b** を切片という。 a は直線の傾きぐあいを、 b は直線と y 軸の交点の y 座標を表している。
・直線は、 $a>0$ のとき右上がり、 $a<0$ のとき右下がり。

例題 次の1次関数のグラフをかきなさい。

(1) $y = -3x + 4$ (2) $y = \frac{3}{4}x - 2$ (3) $y = \frac{3}{5}x - \frac{2}{5}$

解法 (1)(2)は切片と傾きから、(3)はグラフが通る2点の座標を求めてかく。

- (1) ① 切片が4 $\Rightarrow$ y 軸上に点(0, 4)をとる。
 ② 傾きが $-3 = \frac{-3}{1}$ $\Rightarrow$ 点(0, 4)から x が1増加して、 y が3減少した点(1, 1)をとる。
 ③ ①, ②で求めた2点を通る直線をひく。
- (2) ① 切片が $-2 \Rightarrow$ y 軸上に点(0, -2)をとる。
 ② 傾きが $\frac{3}{4} \Rightarrow$ 点(0, -2)から x が4増加して、 y が3増加した点(4, 1)をとる。
 ③ ①, ②で求めた2点を通る直線をひく。
- (3) $x = -1$ のとき $y = -1$, $x = 4$ のとき $y = 2$ となるから、2点(-1, -1), (4, 2)を通る直線をひく。

確認問題 3 次の問いに答えなさい。

□(1) 次の1次関数のグラフをかきなさい。

□① $y = 4x - 4$ □② $y = -\frac{1}{2}x + 3$

□③ $y = \frac{2}{5}x + 1$ □④ $y = -\frac{3}{4}x - \frac{3}{4}$

□(2) 右の図の直線①~④の式を求めなさい。

- ①[]
 ②[]
 ③[]
 ④[]

ポイント 6 2元1次方程式のグラフ

- 2元1次方程式のグラフ…2元1次方程式 $ax+by=c$ (a, b, c は定数)のグラフは直線である。
 特別な場合として、 $a=0$ のときは、 $y=k$ の形になり、点 $(0, k)$ を通り、 x 軸に平行な直線である。
 $b=0$ のときは、 $x=h$ の形になり、点 $(h, 0)$ を通り、 y 軸に平行な直線である。

例題 次の方程式のグラフをかきなさい。

- (1) $2x+3y=6$ (2) $2y=-8$ (3) $4x-12=0$

解法 (1) $2x+3y=6$ を y について解くと、 $y=-\frac{2}{3}x+2$
 グラフは、傾きが $-\frac{2}{3}$ 、切片が2の直線

(2) $y=-4$ だから、 $(0, -4)$ を通り、 x 軸に平行な直線

(3) $x=3$ だから、 $(3, 0)$ を通り、 y 軸に平行な直線

* (1)は、 $x=0$ のとき $y=2$ 、 $y=0$ のとき $x=3$ だから、
 2点 $(0, 2)$ 、 $(3, 0)$ を通る直線になる。

確認問題 6 次の方程式のグラフをかきなさい。

- (1) $2x+y=3$ □(2) $3x-4y+8=0$
 □(3) $3y-12=0$ □(4) $3x=-9$

ポイント 7 連立方程式のグラフ

- 連立方程式の解とグラフの交点… x, y についての連立方程式の解は、それぞれの方程式のグラフの交点の x 座標、 y 座標の組である。

例題 連立方程式 $\begin{cases} 2x-y=1 \cdots \textcircled{1} \\ x+2y=8 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$ の解を、グラフをかいて求めなさい。

解法 ①より、 $y=2x-1$ 、②より、 $y=-\frac{1}{2}x+4$
 それぞれグラフに表すと、右の図のようになる。 → 解は $\begin{cases} x=2 \\ y=3 \end{cases}$

確認問題 7 次の連立方程式の解を、グラフをかいて求めなさい。

- (1) $\begin{cases} x+y=3 \cdots \textcircled{1} \\ 2x-y=3 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$

$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$

- (2) $\begin{cases} x-3y=-9 \cdots \textcircled{1} \\ 2x+y=-4 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$

$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$

最後に
Try!

定期テストに備えよう!

次の問いに答えなさい。

1 <正負の数>

□(1) 次の計算をしなさい。

□① $-5 - (-9)$

□② $10 \times 2 \div (-4)$

□③ $3^2 + 16 \div (-2)^3$

{ } { } { }

□(2) 次の数を素因数分解しなさい。

□① 12

□② 56

□③ 350

{ } { } { }

□(3) 右の表は、A～Eの5人の生徒のテストの得点から70点をひいた値を示している。A～Eの5人の平均点を求めなさい。

生徒	A	B	C	D	E
得点-70(点)	-6	+7	-10	+13	-2

{ }

2 <文字式>

□(1) $x = -\frac{1}{2}$ のとき、 $4(x+1) - 2(2-3x)$ の値を求めなさい。

{ }

□(2) 次の計算をしなさい。

□① $5a - 9 - 3a + 4$

□② $6(3x - 4)$

□③ $(-\frac{7}{10}x + 5) \div \frac{1}{5}$

{ } { } { }

□(3) 右の図のように、マッチ棒をならべて正方形をつくっていく。正方形を n 個つくるのに必要なマッチ棒の本数を n の式で表しなさい。

{ }

3 <1次方程式>

□(1) 次の方程式を解きなさい。

□① $4x - 21 = -3x$

□② $0.01x + 0.4 = 0.06x + 0.7$

□③ $\frac{2x}{3} = \frac{x-2}{4} - 3$

{ } { } { }

□(2) x についての方程式 $x - \frac{x-a}{3} = -1$ の解が、 $7x+4=4x-2$ の解と等しくなるとき、 a の値を求めなさい。

{ }

□(3) A君が家から駅へ行くのに、時速4kmで歩いて行くより、時速15kmの自転車で行く方が22分早く着くとき、A君の家から駅までの道のりを求めなさい。

{ }

4 <比例・反比例>

□(1) y は x に反比例し、 $x=2$ のとき、 $y=-9$ である。 $x=-3$ のときの y の値を求めなさい。

{ }

□(2) 関数 $y=4x$ において、 x の変域が $-2 \leq x \leq 5$ のときの y の変域を求めなさい。

[]

□(3) 右の図で、直線 l は関数 $y=2x$ のグラフ、曲線 m は関数 $y=\frac{a}{x}$ のグラフである。点 A は直線 l と曲線 m の交点で、その x 座標は 2 である。次の問いに答えなさい。

□① 点 A の座標を答えなさい。

[]

□② a の値を求めなさい。

[]

□③ 原点 O と $y=\frac{a}{x}$ 上の x 座標が -1 である点 B を通る直線の式を求めなさい。

[]

5 <平面図形>

□(1) 次の①、②をそれぞれ作図しなさい。

□① 点 P を通り直線 l に垂直な直線

□② 円 O の周上の点 P を通る円 O の接線

□(2) 次の①、②部分のまわりの長さ(弧の長さ)と面積をそれぞれ求めなさい。

□①

□②

[]

[]

□(3) 右の図で、アの三角形を、2回の移動でイの三角形に重ねる。1回目の移動で平行移動をするとき、2回目の移動はどのような移動をすればよいか。

[]

6 <空間図形>

□(1) 右の図は、正四面体の展開図である。次の問いに答えなさい。

□① この展開図を組み立てるとき、点 A と重なる点はどれか。

[]

□② この展開図を組み立ててできる正四面体で、辺 BD とねじれの位置にある辺はどれか。

[]

- (3) 連続する3つの偶数の和は6の倍数となる。 n を整数とし、連続する3つの偶数のうち最も小さい数を $2n$ として、このわけを説明しなさい。

[]

10 <連立方程式>

- (1) 次の連立方程式を解きなさい。

□①
$$\begin{cases} 3x+y=-5 \\ x=4y-6 \end{cases}$$

□②
$$\begin{cases} 6x+3y=9 \\ 2x-4y=8 \end{cases}$$

□③
$$\begin{cases} x-\frac{2}{3}y=3 \\ 4(2x+y)-x=-5 \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

$$\begin{cases} x= \\ y= \end{cases}$$

- (2) ある中学校の今年の生徒数は510人であった。今年は昨年と比べると、男子は5%増え、女子は6%減って、全体としては2人減った。今年の男子、女子の生徒数をそれぞれ求めなさい。

[,]

11 <1次関数>

- (1) 1次関数 $y=-2x+3$ について、 x の値が-1から5まで増加するときの y の増加量を求めなさい。

[]

- (2) 次の問いに答えなさい。

- ① 右の図に、関数 $y=2x-4\cdots(a)$ 、関数 $y=-\frac{1}{3}x+2\cdots(b)$ のグラフをそれぞれかき入れなさい。

- ② 右の図の、直線 l 、 m の式をそれぞれ求めなさい。

l [], m []

- (3) 次の直線の式を求めなさい。

- ① 傾きが-1で、点(2, -5)を通る直線

- ② 2点(-4, -2), (-1, 7)を通る直線

[]

[]

- ③ 点(3, -4)を通り、直線 $y=3x+2$ と y 軸上で交わる直線

[]

- (4) 右の図で、2直線 l 、 m は、それぞれ関数 $x-2y+6=0$, $2x+y+2=0$ のグラフである。次の問いに答えなさい。

- ① 直線 l と x 軸との交点の座標を求めなさい。

[]

- ② 2直線 l 、 m の交点の座標を求めなさい。

[]

CAMP